

2013 年度研究調査事業実績報告書

日 付： 2014/5/31
委 員 会 名：モータースポーツ部門
委 員 長 名： 田中 尋真
報告書作成者： 山根 健

1. 研究調査テーマ

モータースポーツアーカイブズ活動。(記録の作成および保存)

2. 研究調査事業の概要

モータースポーツ関連技術は、機密事項が多く、また、量産車技術と異なり、必ずしも開発部門で資料や記録を保存しているわけではなく、むしろ個人に帰属することも多く、時間の経過とともに消滅しがちであることがこれまでの調査で明らかとなった。モータースポーツ関連の講演を映像として残す、その他の資料も各社に対し啓蒙するとともに、極力委員会として保管し、活用の道を探る。

具体的には、

1. モータースポーツ・シンポジウムの静止画、動画を委員会として撮影し、今後公開できるように保存する、(DVテープ、HDD への記録)
2. モータースポーツに貢献した方々にインタビューを行い、記録する。(本年 3 件実施)
3. 各社にモータースポーツ関係資料の集約、保存を呼び掛けるとともにその一覧を委員会として集約する。(継続)
4. 集約した情報の公開方法を研究、本年度中に冊子を発行する。

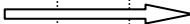
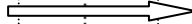
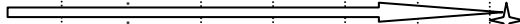
3. 研究調査の成果

成果について具体的にご記入ください。

1. 各社のモータースポーツ関連資料(写真、動画、論文、広報資料等)を集約し、一覧を委員で共有するとともに、詳細を共用 HDD に保存した。
2. モータースポーツ・シンポジウム発表、展示、討議の様子を静止画及び動画で記録、一覧を委員で共有するとともに、映像を DVD に保存した。
3. モータースポーツ功労者インタビューを開始、
第二号として、JAF 顧問弁護士、森美樹氏へのインタビューを行った。氏は戦後レース創生期より弁護士としてモータースポーツに関わり、古くからの人脈、レース技術と法律に関しインタビューを通じて多くに示唆をいただいた。
第三号として、SARD 社長、加藤真氏へのインタビューを行った。氏は自動車メーカでのモータースポーツ(日本グランプリ)を担当ののち、プライベートチームを立ち上げ、1973 年に日本人初のルマン 24 時間にチャレンジしたり、オリジナル車を開発しルマン挑戦をするなど様々な形でレースへの挑戦をし、それらの資料を自ら保管されており、今後の活動への参考となった。
第四号として、NISMO 総監督、柿元邦彦氏へのインタビューを行った。氏は 46 年余にわたり一貫して自動車メーカのモータースポーツ技術部門に所属、そのあり方をお話いただいた。
4. インタビューを軸とした、アーカイブズ冊子を発行、先ず、モータースポーツ・シンポジウムにおいて、次いで各社への配布を行った。

4. 実績と計画との差異

項目ごとに上段に計画を黒の矢印で記入していますので、下段に実施結果を白抜き矢印でご記入ください。

実施内容		2013 年上半期							2013 年下半期					
実施先	作業内容	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
映像担当	シンポジウム映像の整理。													
データ保存担当	データの分類および HDD への記録													
インタビュー担当	インタビューの実施													
WG 全体	アーカイブズ冊子制作と発行													
														
		インタビュー、資料集、リンク集の纏めと編集							3/5 発行。 シンポ他で配布					

5. 委員会活動への影響

今回の研究調査において委員会活動へ影響した点についてご記入ください。

モータースポーツ関連の古くからの資料集約活動を通じ、委員の出身各社に資料保存の必要性が啓蒙された。

モータースポーツ貢献者へのインタビュー活動に際して、各社にその対象者の推薦を依頼した。2013年度の活動では、2012年度から開始したインタビューを積極的に行うこととして、候補者の選定、インタビュー実施を行った。なお、候補者（インタビュー申し入れ済み）の一人は、実施前に逝去され、タイムリーなインタビューの重要性が再確認された。

集約した資料を、冊子として発行、委員会活動のより広範な紹介が出来、また、今後のアーカイブズ活動に生かせるものと考えている。今後は自動車技術、委員会共通フォルダー、自動車技術会ホームページ等に発表し、より広範に委員会活動を公開していく。

また、今後は同様のアーカイブズ活動を行っている企業、機関等と連携する。

6. 今回の研究調査結果について、会員への還元方法を下記より選択してください(複数回答可)。

- ☒ 会誌への記事掲載
- ☐ 春季大会オーガナイズドセッションでの発表
- ☐ 春季大会フォーラムでの発表
- ☐ シンポジウムでの発表
- ☒ 出版物の発行（印刷物）
- ☐ 出版物の発行（CD-ROM）
- ☐ その他（具体的にご記入ください）

冊子を希望者他に配布する。また、インタビュー対象候補者に送付、理解を得る。
自動車技術会ホームページ他に冊子内容やシンポジウム内容を掲載する（次年度）。

7. その他要望等があればご記入ください。

8. 支給額と執行額

支給総額	150,000 円
執行額	141,000 円

費 目		支給額	執行額
印刷製本費	資料印刷費、複写費、編集外注費(英訳)、CD 制作費	20,000	130,000
会議費	会場借上費		
諸謝金	原稿料	30,000	5,760
通信運搬費	電話料、切手代、宅配料、運送用レター代	10,000	
委託費	外部委託、同時通訳代、電算データインプット代	50,000	
開発費	システム開発費		
資料購入費	参考資料等購入費		
物品購入費	部品代、看板等制作費	20,000	
消耗品費	燃料代、実験に必要な消耗品類	20,000	5,240
臨時雇用費	アルバイト代		
その他			
合 計		150,000	141,000

9. 具体的な成果物

報告書は自由に記入願います。(資料が別にあれば添付してください)

モータースポーツアーカイブズ冊子の発行と配布。
シンポジウム、委員会話題提供(一部)、インタビュー映像(未了)の委員会共有 HDD への保存。